

尼崎市事業所景況調査 【 2021(令和3)年4-6月期 】

業況判断DIは、全産業、製造業で横ばい、非製造業で改善となるも、
 新型コロナウイルス第4波の影響により厳しい状況

<調査結果のポイント>

- ◎ 売上高等DI 全産業、製造業、非製造業で改善。製造業の大企業では大幅な悪化。
- ◎ 資金繰りDI 全産業、製造業は2期連続の悪化。非製造業は悪化。
- ◎ 従業員過不足DI 全産業で横ばい。人手不足感は製造業で上昇、非製造業で低下。

<主要指標の結果概要>

- (1) **業況判断DI**は、▲37.9(0.7ポイント上昇)で横ばい。来期は改善の見通し。
 産業別では、製造業は▲21.5(0.5ポイント低下)で横ばい。非製造業は▲45.1(1.9ポイント上昇)で改善。
 製造業の規模別では、大企業は▲27.8(14.4ポイント低下)で悪化、中小企業は▲20.5(1.4ポイント上昇)で改善。
 非製造業の業種別では、建設業は▲20.4(5.9ポイント上昇)で改善、卸売業は▲29.7(18.8ポイント上昇)で改善、小売業は▲63.7(0.7ポイント低下)で横ばい、サービス業は▲47.7(1.5ポイント低下)で悪化しました。
- (2) **出荷額・売上高・完成工事高DI**は、▲39.2(2.5ポイント上昇)となり、改善。
- (3) **売上単価・客単価DI**は、▲20.8(3.4ポイント上昇)で、上昇。
- (4) **(原材料)仕入価格DI**は、26.2(13.0ポイント上昇)で、上昇。
- (5) **在庫水準DI**は、1.4(1.9ポイント低下)で、過剰感が緩和。
- (6) **収益DI**は、▲45.0(2.1ポイント上昇)で、改善。
- (7) **資金繰りDI**は、▲26.9(5.3ポイント低下)で、悪化。
- (8) **従業員の過不足DI**は、▲19.4(0.1ポイント上昇)となり、横ばい。
- (9) **設備投資実施事業所の割合**は、17.7%(6.5ポイント低下)で、低下。来期は上昇の見通し。

注1: DIは景気動向指数「デフュージョン・インデックス(Diffusion Index)」の略。「増加」(または「上昇」「好転」「過剰」と回答した企業の比率から「減少」(または「下降」「悪化」「不足」と回答した企業の比率を差し引いたものです。
 注2: ()内は前回調査との差を示します。

<調査要領>

- (1) 調査時点: 令和3年5月26日
- (2) 調査方法: アンケート用紙郵送による
- (3) 業種別回収数、回収率、配布数: 右表のとおり
- (4) 全体の有効回収率: 46.5%
- (5) 事業主体: 尼崎市
 調査主体: (公財) 尼崎地域産業活性化機構

業種	回収数	回収率 (%)	配布数
全産業	465	46.5	1,000
製造業	141	53.4	264
大企業	19	45.2	42
中小企業	122	55.0	222
化学	20	51.3	39
鉄・非鉄	38	53.5	71
一般機械	37	58.7	63
電気機械	18	52.9	34
その他	28	49.1	57
非製造業	324	44.0	736
建設業	44	57.9	76
卸売業	37	61.7	60
小売業	66	39.5	167
サービス業	177	40.9	433

<本資料の問い合わせ先>

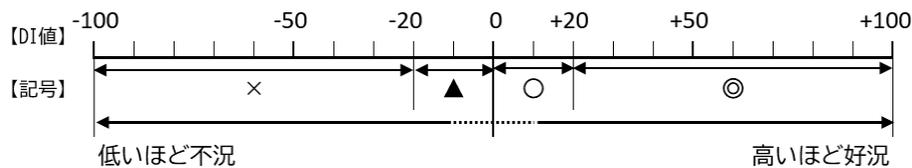
- 尼崎市 経済環境局 経済活性課
 担当: 重本・田枝 連絡先: 06-6489-6670
- (公財) 尼崎地域産業活性化機構 調査研究室
 担当: 熊本・宮崎 連絡先: 06-6488-9501(代)
<https://www.ama-in.or.jp/research/sub01.html>

■景況調査結果の総括（令和3年4-6月期）

業種 項目	全産業	製造業			非製造業				
		全体	大企業	中小企業	全体	建設業	卸売業	小売業	サービス業
今回業況判断DI値※1	× -37.9	× -21.5	× -27.8	× -20.5	× -45.1	× -20.4	× -29.7	× -63.7	× -47.7
前回との差※2	— 0.7	— -0.5	↓ -14.4	↑ 1.4	↑ 1.9	↑ 5.9	↑ 18.8	— -0.7	↓ -1.5

表のよみ方

※1：「業況判断DI値」(=「好転した割合」-「悪化した割合」)は、下図のとおり記号化しました。



※2：「前回との差」は、前回調査のDI値との差を、下表のとおり記号化しました。

記号	↓	↓	↓	—	↑	↑	↑
意味	大幅な下落	下落	やや下落	横ばい	やや上昇	上昇	大幅な上昇
DI値の差	-20.0以下	-20.0超～ -5.0以下	-5.0超～ -1.0以下	-1.0超～ 1.0未満	1.0以上～ 5.0未満	5.0以上～ 20.0未満	20.0以上

■産業別の概要

【製造業】「事業所の業況判断DI」は▲21.5（0.5ポイント低下）で、横ばいとなりました。「出荷額DI」は改善し、「収益DI」は横ばいとなりました。「資金繰りDI」は悪化しました。「売上単価DI」は上昇しましたが、「(原材料)仕入価格DI」も上昇しました。「在庫水準DI」は低下し、ほぼ適正の状況です。「設備投資」を実施した事業所の割合は低下しましたが、来期は上昇の見通しです。「従業員過不足DI」は低下し、不足感が上昇しました。「来期業況」は改善の見通しです。

<規模別> **【大企業】** ▲27.8（14.4ポイント低下）で悪化。来期は大幅な改善の見通し。

【中小企業】 ▲20.5（1.4ポイント上昇）で改善。来期は改善の見通し。

<業種別> **【化学・プラ】** ▲15.0（14.4ポイント上昇）で改善。来期は改善の見通し。

【鉄・非鉄・金属】 ▲16.2（14.1ポイント上昇）で、改善。来期は改善の見通し。

【一般・輸送機械】 ▲24.3（21.6ポイント低下）で、大幅な悪化。来期は改善の見通し。

【電気・機械】 ▲22.2（4.6ポイント低下）で、悪化。来期は改善の見通し。

【その他】 ▲28.6（3.4ポイント上昇）で、改善。来期は改善の見通し。

【非製造業】「事業所の業況判断DI」は▲45.1（1.9ポイント上昇）で、改善しました。「出荷額DI」「収益DI」はともに改善しました。「資金繰りDI」は悪化しました。「売上単価・客単価DI」は横ばいとなりました。「(原材料)仕入価格DI」は上昇しました。「在庫水準DI」は横ばいとなりました。「設備投資」を実施した事業所の割合は低下し、来期は横ばいの見通しです。「従業員過不足DI」は上昇し、不足感が緩和しました。「来期業況」は、改善の見通しです。

<業種別の業況判断DI>

[建設業] ▲20.4（5.9ポイント上昇）で、改善。来期は横ばいの見通し。

[卸売業] ▲29.7（18.8ポイント上昇）で、改善。来期は改善の見通し。

[小売業] ▲63.7（0.7ポイント低下）で、横ばい。来期は改善の見通し。

[サービス業] ▲47.7（1.5ポイント低下）で、悪化。来期は改善の見通し。

調査結果の詳細は、右記ホームページをご覧ください。 <https://www.ama-in.or.jp/research/sub01.html>